

学習院大学史料館平成28年度春季特別展

幕末京都の 学習院展



公家たちの挑戦、
志士たちの夢。

動乱の時代を生きた
学習院の人々の記憶に迫る。

平成28年4月2日(土)

~5月28日(土)

開室日 | 平日・土曜日 10:00~17:00

閉室日 | 日曜日・祝日※4/3(日)4/17(日)は開室

本展覧会は一般社団法人霞会館の
ご協力により開催しております。

入場無料

展覧会の紹介

「SNATCH VIEWER」で本展覧会に関する
動画を見ることができます。

- ①アプリ「SNATCH VIEWER」をダウンロード
- ②「いますぐSCAN」をタップ
- ③上部の絵をかざす



本動画は
3/22~5/28まで
ご覧いただけます。

画像「三条公履歴」より学習院図

まずはアプリをダウンロード



SNATCH
VIEWER



幕末京都の 学習院展

学習院の淵源を辿る。

学習院は明治10年(1877)に華族子女の教育機関として東京神田の地で開校しました。しかしそれ以前、幕末期の京都に、公家の学問所としての学習院が存在したことはあまり知られていません。

京都の学習院は弘化4年(1847)に御所の東側に設けられました。明治に至るまでの二十余年の間、漢籍

や和書を教材とした講義が定期的に行われ、多くの公家が学問に励みました。当初は、朝廷勢力の伸長を好ましく思わない幕府の思惑の下、簡易な学問所として創設されましたが、時代を経るにしたがって、朝廷をめぐる動向がより政治的意味を持つようになると、学習院が担う役割も増大していきました。そして黒船来航以降、尊王攘夷運動が活性化すると、長州藩を中心とする志士たちの参集所となることもありました。かくして学習院は幕末維新の動乱の渦に飲み込まれていったのです。

来年には京都の学習院の開校から170年目、東京の学習院の開校から140年目を迎えます。それを記念して本展では京都の学習院にまつわる数々の品を展示し、学習院の淵源を見直すべしとしたいと思います。

主な展示品



勅額「学習院」

孝明天皇より京都の学習院に下賜されました。学習院のシンボルとして、いまも本院に伝わります。



和宮関連資料ほか

皇女和宮が兄である孝明天皇より拝領した盃と硯箱。光格天皇と山階宮兒親王にまつわる品も紹介します。



清原宣賢『中庸鈔』

古来学問の家として名高く、学習院の院務にも深くかかわった清原家にまつわる書物を展示します。



丁祭(積奠)関連資料

学習院や幕府の聖堂で行われた孔子祭祀(丁祭)で、実際に用いられていた器物や書籍を公開します。



吉田松陰獄中詩

多くの長州藩士を導いた吉田松陰が、没年の元旦に獄中で詠んだ漢詩と和歌。松陰の真筆は見事です。



乃木希典関連資料

第10代学習院長を務めた乃木希典の遺品の中から、京都の学習院に関する墨跡や書籍を展示します。

東洋文庫ミュージアム

「もっと知ろうよ! 儒教」展

東京都文京区本駒込 2-28-21

2016年4月20日(水)~8月7日(日)

休館日 | 毎週火曜日(ただし祝日の場合は閉館)

10:00~19:00(入場は18:30まで)

<http://www.toyo-bunko.or.jp/museum/>



©2016 FUJITV KIDS

2館連携企画

- 1 幕末京都の学習院展の受付で「もっと知ろうよ! 儒教」展の割引券を配布します。
- 2 幕末京都の学習院展の受付に「もっと知ろうよ! 儒教」展の入場レシートをお持ちいただいた方に特製クリアファイルをプレゼントします。(なくなり次第終了)

開室日

平日・土曜日
10:00~17:00

閉室日

日曜日・祝日

※4/3(日)4/17(日)は開室

北2号館1階

学習院大学史料館展示室

〒171-8588 豊島区目白1-5-1

JR山手線目白駅より徒歩5分

東京メトロ副都心線雑司が谷駅より徒歩7分

03-5992-1173

<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/ua>

ギャラリートーク	【関連講座】第79回学習院大学史料館講座
「京都学習院の漢籍」 中嶋諒(客員研究員) 日時:4月17日(日)	「京都の学習院 一公家・幕府・藩の動向と関連させて」 講師:家近良樹氏(大阪経済大学経済学部教授) 日時:5月7日(土)14:00~15:30 会場:学習院創立百周年記念会館正堂
「京都学習院の生活」 橋本佐保(EF共同研究員) 日時:5月21日(土)	
※いずれも14:00~展示室内	※入場無料 事前申し込み不要

